



# リーダーの役目は今、重要です

「やあ。リーダーというのは、むずかしいですなあ。」

「地位に長く居座ってワンマンが過ぎると、まわりは何も言わないようになり、好き放題するようになる。」

「しかも、本人は判断がつかないようになる。」

「例を出しますと、あつ。よその国やないですよ。わが日本の話です。」

「大阪で今も人気があると言われる太閤さん、すなわち豊臣秀吉が、それに当たるのやないかと思えます。」

「秀吉は戦国武将にしては、敵に対して、寛大な武将だったと思いますけど、晩年、孫のような子どもの秀頼が生まれると、甥の関白である秀次を追い込んで自刃させたり、朝鮮半島に攻め込んで意味のない戦いを繰り返したりしました。」

「それを誰も止められませんでしたからなあ。自分で豊臣家の墓穴を掘ったようなものです。こわいですなあ。独裁者は。」

「そやけど、何も決められない人が、トップに座ったら、これまた迷走して終始がつかないようになる。」

「トップは孤独で、大変なものやからねえ。小さな企業やけど、社長をやめて、つくづくそう思いますわ。」

「そして僕は、その器うつわでもないし、今感じます。僕は「人寄せパンダ」や、と自分でも思います。」

「東大阪の町工場が集まって、人工衛星「まいど1号」を打ち上げるときに、資金集めのためにあちこち回ってお願いしたり、講演したりしていました。」

「そして打ち上げの後も、講演で全国を回ってたら、なぜか「青木さんの話を聞くと、エネルギーもらえますわ。おおきに」と言ってくれる人が、ようけおりました。」

「なんでやろうと、その当時は思っていました。僕なんか所詮、中小企業のオヤジです。それまで、講演なんて、エライことしたことはありませんでした。」

## 僕の話は 自分の体験を基にしています

「それで考えた結論です。わかりやすいですなあ。僕の話は、自分の体験を基にしているから、誰にもわかるんですよ。」

「特に聞き手は、同じ苦労してる中小企業の方が多かったからやと思います。」

「それなら、人寄せパンダならパンダに徹しよう、と思い、いろんな大学のアドバイスしたり、医療と中小企業をつなぐこと考えたり、してきました。」

「それから、大学にかかわったこともあったんですよ。八人



●(株)アオキ取締役会長  
**青木 豊彦** (あおき・とよひこ)



大阪府生まれ。1997年(株)アオキは航空機メーカーのボーイング社の認定工場に。また東大阪の技術力を生かし人工衛星「まいど1号」を開発、2009年に打ち上げ成功。その後無人垂直飛行機「AKITU」も開発に成功した。2014年4月、国立和歌山大学客員教授に就任。2016年には大阪府立大学学長特別顧問に就任。2020年、国立滋賀医科大学学外有識者会議委員に就任。(一財)ものづくり医療コンソーシアムの理事も。

いる孫たちの成長を見ることがあったんでしょ。

今、大阪公立大学や国立和歌山大学など、そして孫の通う四條畷学園でも、学んでいる学生さんや生徒さんが、ええ環境で過ごせるようにするには、どうしたらええんやろうか?というのをいつも考えてます。

つまり、若い人と日本の未来についてやね。

このままでいくと、日本の人口は、一億人を切ることもなるでしょう。

一方で、賃金は一九九〇年以降、上がらないようだし、人口が増えて所得が増える時代は、はるか彼方となつてしまいました。

日本は、沈んでしまふんやないか、と心配してます。

そうやなくても、お隣の中国は、えらい景気です。僕の会社にも、中国の経営者が見学に来ましたが、向こうの方が羽振りがよくて、いやになります。

**中国へのODAは今年三月で終了したそうです**

知らなかったんですが、中国へのODA、つまり、途上国援助は今年の三月で終了したそうです。逆に言えば、二〇二一年度まで、中国へのODAはつづいてたんですなあ。びっくりです。中国は今やGNPが世界第二位の国です。日本は第三位です。これけつたいやありませんか。三位の国が二位の国を援助するなんて。もちろん、一人当たりになると、また違います。

二〇二〇年で日本は二四位、中国は六四位です。日本より上は、ヨーロッパやアメリカ、カナダなどです。

まあ、小さな国が上位の方には、たくさんありますけど。それにしても、途上国援助するのなら、今もアジアでも、アフリカでも、医療や教育に困つてるところ、ぎょうさんあるでしょうに、二〇二一年度まで中国にODAやつたというの、不思議です。

誰かわかる方いたら、教えてください。

さて、中国の話はさておいて(笑)、日本が沈まないようにするには、令和の松下村塾のような塾をつくりたいですなあ。そこで人材を養成して、リーダーを輩出したいもんです。そのリーダーが若い人の所得を上げて、結婚したくなるような環境をつくって、希望を持てる産業を育てる。リーダーの役目は今、重要です。



●石垣山一夜城跡 豊臣秀吉が、小田原北条氏を攻めたとき、一夜のうちに城を築いたように見せかけ、北条氏の戦意を失わせ降伏に至らせたという